

# Pal

～仲間



2021  
Winter Edition  
Vol.112

2021年(令和3年)12月28日発行

第16回 にほんごで話そう!日本語スピーチ大会.....	1~3
日本語教室の開催状況 .....	3
地域のイベント案内 .....	3
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ .....	4

発行■ 公益財団法人 大和市国際化協会  
 〒242-0018 大和市深見西1-3-17  
 市民活動拠点ペテルギウス北館1階  
 TEL 046-265-6051 FAX 046-265-6052  
 URL : <http://www.yamato-kokusai.or.jp>  
 Email : [pal@yamato-kokusai.or.jp](mailto:pal@yamato-kokusai.or.jp)



## 第16回 にほんごで話そう!日本語スピーチ大会

ステージ上で気持ちよく歌う発表者あり、前向きな言葉の中に思わずこぼれる本音が泣かせるスピーチありの第16回「にほんごで話そう!日本語スピーチ大会」が11月14日、無事終了しました。

この大会は、外国人市民の皆さんに毎日の日本語学習の成果を発表していただくと同時に、広く地域の皆さんに外国人市民の思いに触れていただく機会として毎年行ってきましたが、昨年度は、発表者の皆さんには原稿まで準備していただきながら緊急事態宣言の発令により、直前の中止。残念ながら今年も大幅に発表者・来場者を絞り、マスクをしたままスピーチをしていただくことになってしまいました。

「母国に、命を落とした家族がいる」、「帰りたくても帰れない」。もちろん、スピーチの中にも、新型コロナウイルスのことは出てきます。人との接触が避けられ、自由に移動はできず、我慢が続きなんとなく気持ちが重くなるような毎日が、もう2年になろうとしています。母国を離れて暮らしている人たちはみんな、もしかしたらこんな気持ちをずっと抱えながらいたのかもしれないと、スピーチを聞きながらそのようなことを考えていました。次ページで一部、また国際化協会のウェブサイト上ですべての発表者の原稿を、You Tubeで当日の動画を公開していますので、私達の近くで、私達より前からずっと、寂しさや孤独を感じている人たちの声に、是非耳を傾けてみてください。ただ決してそれだけでなく、励まされる思いも受け取っていただけるのではないかと思います。

HP アドレス : <http://www.yamato-kokusai.or.jp/jigyo/speech> You Tube : [yamato international association] で検索

## 第16回 にほんごで話そう！日本語スピーチ大会

公益財団法人大和市長国際化協会 理事長賞受賞

## 『私の日本語の勉強方法』

インドネシア出身  
バフルディンさん

みなさん、こんにちは。わたしは3年前、インドネシアから来ました。

今日は、私の日本語学習のプロセスについて話したいと思います。なぜ、話すかというと、外国人は日本に来たら、いろいろな勉強すると思います。また、ぜったい日本語もがんばって勉強すると思います。勉強のやり方は、本を読んだり、教科書を読んだりマンガを読んだり、いろいろあると思いますが、私のやりかたは、みなさんとちがうのじゃないかと思

って、それをしょうかいいたいと思います。

まず、私は音楽が大好きです。それで、よく日本のバンド音楽をきいています。そして、自分が好きな日本の歌をききながら勉強します。たとえば、こんなやりかたです。音楽を聞いているときにわからないことばが出てきます。その時、そこでストップして、わからないことばをメモします。やってみますね。

♪上をむいてあるこう、なみだがこぼれないように、なきながら歩く、ひとりぼっちの夜♪

ストップ。いま「ひとりぼっちの夜」ということばがわかりませんでした。それでストップしました。そしてメモします。

つづけます。それをくりかえしてメモに書いたことばをあとで、じよでしらべて、いみをりかいますのです。いみがわかれば、その歌がもっとりかいてきて、新しい日本語をおぼえられて、すごく勉強に

なります。いいやりかただと思いませんか。

つぎは、2ばん目のやり方です。それはYouTubeです。いろいろなYouTubeがあります。その中でもせつめいYouTubeを、わたしはよく見ます。たとえば、新しい食品のせつめいだったり、ゲームや食べ物などです。私は、会社で、せつめいをしなければいけない時、どうしたらわかりやすく、かんたんにせつめいできるかYouTubeを見て勉強します。この方法も、ほんとうにいいと思います。たとえば、ああこんな話しだったら、ああこんなせつめいだったら、この日本語を使うのだなと本当にせつめいできます。ですから、このほうほうも、やってみてください。

さいごの3ばん目のやりかたですが、これがいちばんいい方法かな…と思っています。それは日本のえいがを見ることです。日本のえいがの中にはいろいろなキャラクターのことばがでてきます。子どもからおとしよりまで、性格がやさしい人も、悪い人も出てきます。やさしい人は、こんな話しかたをするんだな…とか、悪い人はこんなことばを使うんだなあ…とか。今のは、ほかのことばで何というんだろうか…とか。ほんとうにえいがには、勉強になることがいっぱいあります。日本で小さな子どもに話しかけるとき、「こどもだからこうやって話しをしよう」とか、使いわけることができるようになってきました。

こんな感じで、私は日本語を勉強します。外国人の皆さんもこんなやり方でもやってみてください。おもしろいと思います。今日は、本当にありがとうございました。

大和市長 特別賞受賞

## 『チャンスを無駄にしないために』

神奈川県立座間総合高等学校 1年  
丸岡ディアナ恵美さん

こんにちは。丸岡ディアナ恵美です。私は、神奈川県厚木市で生まれました。子供の頃は、幼稚園で遊んだり、ピアノを弾いたり、絵を描いたり…。日本人と同じ、普通の子供でした。

ところが、ある日を境に、私の生活が変わりました。2011年3月11日。東日本大震災の日です。当時、私は5歳でしたが、テレビで何度も見た津波の映像は今でもよく覚えています。両親は心配し、父の祖国であるアルゼンチン、その後、母の両親がいるボリビアへ帰ることになりました。まだ子供だった私は、知らない国へ遊びに行くつもりでワクワクしました。

父はボリビアで酪農の仕事を始め、私は小学校1年から中学校3年までボリビアで過ごしました。ところが、ある日父が育てていた牛の牛乳が、買い取ってもらえなくなりました。父の牛乳はとてもいい牛乳でしたが、買ってもらえない理由はわかりませんでした。それからお金の問題が始まりました。

2019年、母は日本へ働きに行きました。その頃、アルゼンチンに住む祖父が病気になり、父もアルゼンチンに行くことが多くなりました。私は妹とボリビアに残されました。私は14歳、妹は6歳でした。妹は夜になると、ママはどこ？日本はどこ？と泣きました。私も辛かったけれど、妹のために泣くわけにはいきません。気分が落ち込んで、体調を崩し、体重がずいぶん減ってしまいました。その年の11月、夏休みを利用して、私たち家族は母に会いに、日本へ行くことになりました。ちょうど同じところ、ボリビアで大統領選挙をめぐる、暴動が起き、多くの死者が出ました。空港も封鎖されましたが、私たちはその直前、ぎりぎり飛行機に乗ることができたのです。

日本での楽しい時間はあっという間に過ぎました。そんなある

日、両親が私に言いました。「日本好き？日本に住みたい？」私は2つのことを考えました。一つは、お母さんと一緒に暮らしたいということ。もう一つは、妹に寂しい思いをさせたくないということ。それで私は「日本にいたい」と答えました。

日本へ残ると決めてから、私は高校受験のために、フリースクールに入りました。その頃、ボリビアでも新型コロナウイルスの感染が広がっていました。そして、ボリビアに戻った祖父母たちも感染し、祖母がなくなりました。

これまで、私の人生には、いくつかの大きな分かれ道がありました。もし、地震が起きなかったら、もしあの日、日本行きの飛行機に乗れなかったら。そして、もし、祖父母と一緒に、ボリビアへ戻っていたら…。今の私は、どうなっていたでしょう。

ボリビアでは、いろいろ大変なことがありました。でもそのおかげで、わかったこともたくさんあります。朝起きたら、ご飯があって、学校に行ける。友達と遊んで、お腹がすいたらコンビニにも行ける。勉強ができて、自分の夢が持てる。これはとても恵まれているということです。

ボリビアには、学校に行けない子供たちがたくさんいます。道路でお菓子を売ったり、交差点で止まっている車のフロントガラスを拭いたり、信号待ちの車の前で踊ったり…。たった硬貨1、2枚(日本円で15円ぐらい)のために危険な仕事をしているのです。

ボリビアの学校では、暴動が起きてから2年以上、オンライン授業が続いていますが、携帯やパソコンを持っていない人も大勢います。子供の教育のためにパソコンを買うよりも、食料品やマスクを買う方が大事だからです。

日本では当たり前なのが、当たり前じゃない国がある。このことを多くの人に知ってほしいと思います。自分がもらった幸運なチャンスは無駄にしたいと思いません。だから一生懸命勉強して、これから私に何ができるか、考えていきます。



大和市教育長 特別賞受賞

## 『あきらめない心』

神奈川県立座間総合高等学校 2年  
オリヴェイラ ケヴェンさん

私は2019年8月にブラジルから日本へ来ました。父が1年前に来ていて、そのあと母と私が来日しました。父も、母も、私も日本語ができなかったから、日本ではかなりやばい家族でした。

私はブラジルの中学を卒業していたため、日本の中学校に入学できませんでした。それで鶴見にあるNPO法人ABCジャパンで、日本語と高校受験のための勉強を始めました。ABCジャパンでは、日本に住む外国人が自立した生活ができるように支援したり、子どもたちに日本語や勉強を教えたりしています。

両親が日本語ができない子どもは、家で勉強をしてくれる人がいません。私も高校入試まで、あと半年しかありませんでした。初めて受けた模擬試験の結果では、日本の高校に入れる可能性はゼロだといわれました。その時は本当にどうしようと思いました。何のために日本へ来たのかと思いました。

ブラジルでは勉強も結構好きだったし、友達もたくさんいたし、生活はうまくいっていたと思います。だから本当は日本へ来たくなかったんです。それで両親とけんかをしたこともありましたが、でも日本に来たほうが仕事があるし、収入もいいし、将来のことを考えたら日本へ行った方がいいと言われるうちに、私も行きたいと思うようになりました。両親は、この子ならきっと日本でもうまくいく、と思っていたそうです。

ぼくを信じている両親のためにも、がんばるしかないと思いました。それから、ぼくは勉強に打ち込みました。日本に来たら

いじめがあると聞いていましたが、いじめられる暇もないほど、勉強しました。ABCジャパンで勉強して、家でも毎日勉強しました。そしてとうとう、去年の春、座間総合高校に合格しました。

高校では、サッカー部に入りました。サッカー部では、「ブラジル人が入ってきた」とみんなが喜びました。ブラジル人だから、サッカーがうまいと思われたのです。でも、ぼくはブラジルではカンファーを習っていて、サッカーはやっていませんでした。だからみんなはぼくが下手で、びっくりしていました。逆にぼくはみんながうまくて、びっくりしました。

サッカー部の朝練は毎朝7時半から始まります。私は鶴見から通っているので片道1時間半かかります。だから家を出るのは毎朝6時。部活の休みは週に1回で、いつ休みになるかわからないから予定が立てられず、友だちと遊びに行く約束も、アルバイトもできません。家に帰るのは夜9時ぐらいになります。両親は心配していますが、僕はサッカーが好きだから、最後まで頑張るつもりです。

ぼくには大変だからやめるという選択肢はありません。最後までやりきる。最後までやりきることができれば自信がつきます。ぼくは自分に自信をもちたいです。

日本へ来てから、希望をなくしていた自分に、今、言いたいです。「あきらめずに、できることを一生懸命やればいい」と。

これからもいろいろな大変なことがあると思います。ぼくはまじめにがんばることしかできません。失敗をおそれず、新しいことにチャレンジし、ゆっくりでも一步一步前に進めば、きっと良い未来につながると信じています。

## 大和市で活動している地域の日本語教室

田…場所 ①…日時 電話…電話番号 メール…メールアドレス

- 2021年12月17日現在、地域にある以下の日本語教室が活動を再開しています。参加希望の方は、以下の連絡先に直接お問い合わせください。いずれの教室も、使用している施設の感染防止ガイドラインの基づき活動しています。

## 大和日本語教室

田 大和市保健福祉センター4階  
① 毎週日曜日 午前10時20分から午後12時20分  
☎ お問い合わせ先: 046-232-5326 酒井さん

## 南林間にほんごひろば

田 大和市保健福祉センター4階  
① 毎週水曜日 午後6時から7時30分  
☎ お問い合わせ先: nihongohiroba2016@outlook.com

## つま読み書きの部屋

田 夜クラス: 大和市保健福祉センター4階 ① 月曜日 午後7時から9時 ※どちらも2022年2月に全3回の  
昼クラス: 生涯学習センター612文化創造室 火曜日 午前10時から正午 講座を開催します。  
☎ お問い合わせ先: 大和市役所国際・男女共同参画課 046-260-5164

## かけはし

田 大和市保健福祉センター4階  
① 毎週金曜日 午前10時から正午  
☎ お問い合わせ先: 046-205-3990 仙田さん

## やまびこ

田 大和市保健福祉センター4階  
① 第1から第4木曜日 午後7時から8時15分  
☎ お問い合わせ先: seisin\_aki45@yahoo.co.jp 廣田さん

## やまと国際フレンドクラブ(IFC)

## インターナショナルフェスタ

日 時: 2022年1月16日 日曜日 午後2時から  
会 場: やまとウィーンホール (大和東1-12-4)  
費 用: 小学生以上500円 幼児300円  
内 容: ダンス・パステル(子どもたちのモダンバレエ)・もちい  
(紙芝居&バルーンアート)・チャケサン(フォルクローレ)・  
ビンゴ大会(はずれなし)  
お問い合わせ: IFC長谷部さん  
hasebehm0211@ae.auone-net.jp

## 地域のイベント案内

## NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

## 《教育講演会》

『児童虐待から家族・貧困・社会を考える～  
コロナ禍で置かれた女性の位置』

講 師: 日本女子大学教授 周燕飛氏  
日 時: 2022年2月19日 土曜日 午後1時30分から5時30分  
会 場: 富士見会館1階101号室 (中央5-2-29)  
その他オンライン配信あり  
費 用: 一般1000円 学生500円  
お問い合わせ: 046-272-8980 (Ed.ベンチャー事務局)

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

9:00~16:00 ベトナム語  
10:00~13:00 タガログ語  
10:00~13:00 中国語  
9:00~17:00 スペイン語

日	月	火	水	木	金	土
現在、Siempre! Genki! は、活動を休止しています。新型コロナウイルスの感染状況が落ちついたら再開します。詳しい情報は、国際化協会ホームページ、フェイスブックでご案内しています。						
2	3	4	5	6	Siempre! Genki! (スペイン語による介護予防教室) <b>休止中</b>	
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	2 現在、外国人ママの広場は、活動を休止しています。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、国際交流サロン内で飲食ができる様になったら再開します。詳しい情報は、国際化協会ホームページ、フェイスブックでご案内しています。		
23	24	25	26	外国人ママのひろば <b>休止中</b>		
30						

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	ピックアップ! 通訳・翻訳ボランティア研修会 第1回	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	外国人ママのひろば <b>休止中</b>		ピックアップ! 多文化共生防災訓練		

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	ピックアップ! 通訳・翻訳ボランティア研修会 第2回	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	ピックアップ! 通訳・翻訳ボランティア研修会 第3回	

土曜開庁日 【毎週水曜日】日本語教室

■公益財団法人大和市国際化協会  
〒242-0018  
神奈川県大和市深見西1-3-17  
市民活動拠点ベテルギウス北館1階  
Tel: 046-265-6051  
Fax: 046-265-6052  
Email: pal@yamato-kokusai.or.jp  
http://www.yamato-kokusai.or.jp  
受付時間 月・水・金 第1、3土曜日  
8:30~17:00  
火・木 8:30~20:15



ピックアップ!

①開催日時 ②開催場所 ③費用 ④内容 ⑤講師  
⑥対象 ⑦定員 詳しくは、国際化協会のホームページ (http://www.yamato-kokusai.or.jp/) でご確認ください。お問い合わせ、お申込みは、電話、窓口、Fax、Emailで受け付けます。

注意

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催日時を変更することがありますのでご了承ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。現在、国際交流サロンでは、日本語ボランティアの活動を実施しています。手指の消毒、使用した机などの清掃にご協力ください。また国際交流サロン内での飲食は禁止としています。

通訳・翻訳ボランティア研修会

日頃、行政や外国人市民からの通訳や翻訳依頼に協力いただいている登録ボランティアを対象に研修会を開催します。第1回、第2回は通訳研修会、第3回は翻訳研修会です。  
①第1回:2022年2月19日(土) 第2回:3月5日(土) 第3回:3月19日(土) いずれも午後1時30分から3時まで ②オンライン(Zoom) ③無料 ④第1回、第2回:学校現場や医療現場での通訳の注意点や通訳技術を学ぶ。第3回:英語の定冠詞、不定冠詞、無冠詞および、前置詞の使い分けについて学ぶ。 ⑤第1回:MICかながわ英語通訳 鈴木万里子氏 第2回:MICかながわ通訳コーディネーター・ポルトガル語通訳 岩本弥生氏 第3回:MR言語学教育センター カナダ出身 キース プラディ氏 ⑥第1回、第2回:全言語の登録ボランティア 第3回:英語の登録ボランティア ⑦各回20名程度 1月4日(火)より先着順に受け付けます。定員に余裕がある場合は、登録ボランティアに限らず一般市民の参加も受け付けます。

多文化共生防災訓練

大きな災害に備え、日本語がわからない人に災害の情報を伝えることができるよう、訓練を実施します。  
①2月26日(土)午前9時30分から正午 ②つきみ野中学校 ④災害のときに外国人が直面する課題などについての講義及びワークショップ(やさしい日本語とピクトグラムを使った情報伝達) ⑤NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行氏、大和市役所危機管理監 馬場誠一氏 ⑥どなたでも

日本語ボランティア交流会

①2022年3月5日(土)午前10時から正午 ②ベテルギウス北館会議室 ③無料 ④ボランティア間の交流を通して活動の悩みや不安を共有します ⑦地域国際化推進アドバイザー 坂内泰子氏 ⑥国際交流サロンで活動しているもしくは活動してみたいと思っている日本語ボランティア ⑦20名  
1月10日(月)から、現在活動中のボランティアを優先して先着順で受け付けます。席に余裕があった場合、1月25日(火)より未活動の登録ボランティア、登録したいと思っている一般市民の受付を開始します。

第6期大和市多文化共生会議

外国人市民と日本人市民が委員となり、生活を通して感じる大和市の多文化共生に関する課題を共有し、調査や話し合いを重ねて解決策を検討する会議です。第6期の開催に向けて委員を募集しておりますので、ご希望の方は当協会までご連絡ください。  
①2022年1月から2023年12月まで(2か月に1回程度、会議を開催します) ⑥市内在住・在勤・在学・在活動の方12名程度